



11月2日(土) チーム神於山 有志活動報告

2013.11.04
シャープ社友会
チーム神於山 真砂

■活動日時：2013年11月2日(土) 10:00~15:00

■参加者：チーム神於山 社友GS 5名 現役GS (田平さん) 1名 計6名

■活動内容

- ◆10月26日の「チーム神於山」の活動が雨で中止となったことから、そのリカバリーで、臨時に有志活動を呼び掛けた所、6名が参加。ワイワイがやがや楽しみながら作業を進めました。
- ◆現役GSの田平さんは、神於山と明日香村の両方のGSに登録されていて、2日も、午前中、SGC明日香の森での社友GS活動に参加した後 駆けつけてくれたもので、自他共に許すシャープの森ファンです。
- ◆作業は、今回SGCが購入した、多用途梯子の確認から始め、フクロウの巣箱第7号を作り、10月12日(土)のSGC活動で作って木に架けた、中村チームの巣箱第5号を針金で固定し、同じく10月12日の活動に家族で参加された、橋本チームが作った巣箱第6号を木に架けて終了しました。
- ◆新たに作った巣箱第7号は、9日のSGC活動で木に架ける予定です。
- ◆参加頂いた6名のGSの皆さん、お疲れ様でした。



1. SGCが購入した多用途梯子の確認。軽い分 専用の梯子より華奢ですが、巣箱架けには十分です。



- 収納時は、底辺で幅約37cm、奥行約26.5cm、高さ約130cmと、結構コンパクトで、第一条件だった倉庫に問題なく収納できるサイズです。
- 重量は、約13kgとますますの軽さで、一人で持てますが、持ち方にちょっと工夫が必要です。



- 「2連脚立」にした場合。
- 中央を立てると、約2.5mの脚立になります。
- 曲げ伸ばしは、関節部分の左右のラッチを緩めて行いますが、これもちょっとしたコツがあるようです。



- 上は、台形の「作業台」にした場合。
- 150kgの荷重に耐える仕様ですが、真ん中に乗るとたわむようで、なんとなく不安です。
- 実際に使う時は、作業用の板を敷く必要が有ります。(別売で「作業プレート」が有りますが、購入していません。)
- 右は、本命の「梯子」にした場合。
- 推奨対地角度は75度。
- 4m70cmまで伸びるので、フクロウの巣箱架けには充分です。



童心に帰ってエノキ登り。大丈夫? でもない?

2. フクロウの巣箱「第7号」作り。

4号は欠番ですから、7号ですが6個目です。



先ず板合わせ。



コンパネビスで組み立て。



止まり木を作って・・・



蝶番で天板を開くようにして完成！



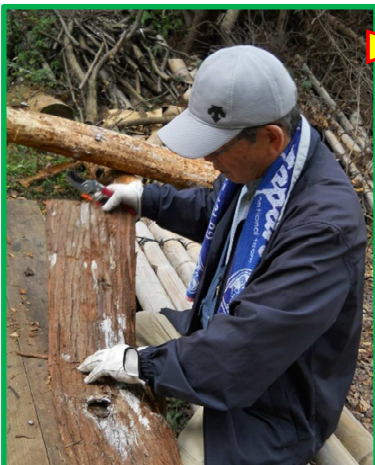
組立てを完了して、取りあえずの一枚。お疲れ様！

- 今回の巣箱は、四角い入口が特長です。

- これで、入口を天板に開けたもの、前板で、丸窓のもの、そして今回の四角いものの3種類になりました。

- どのタイプの巣箱に営巣するか楽しみです。

更に巣箱作りは続いて・・・



檜皮を、サイズを図って切り、



小さい釘で丹念に止めて行きます。



底に製作者4人のサインを書き・・・

- 底裏に書いた製作者のサインは、下を通る「人」の為に、また天板の裏に書いたサインは、住み着いた「フクロウ」の為に書いています。



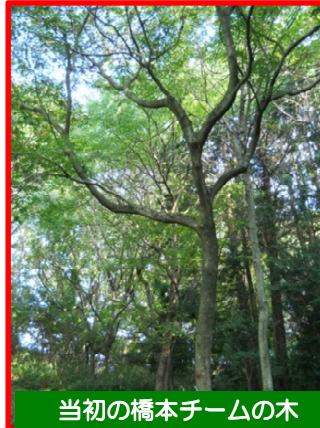
天板の裏にもサインして、最終完成！出来栄えに大満足です。

3. 巣箱架け。

中村チームの巣箱第5号を針金で固定し、橋本チームの巣箱第6号を木に架けました。



棕櫚縄で固定していた中村チームの巣箱を針金で補強。



当初の橋本チームの木

- 中村チームの第5号は、棕櫚縄で固定していましたが、切れる心配があるので、針金で補強しました。
- 橋本チームの第6号は、当初中村チームの第5号に近い、クリの木広場の木に架ける予定でしたが、実際に梯子をかけて確認した結果、台座を作らないと難しいことが判ったので、少し自然林に入った所で新たに見つけたヤマザクラの巨木に架けました。



乗っているのは枯枝ですが、本体上下を針金で幹に固定。



巣箱の入口は、空が見えるギャップに向いています。



午後も活動いただいた皆さん。右から2人目が現役の田平さんです。



- 今回作った第7号は、橋本チームのヤマザクラの巨木の下でスタンバイ。
- 9日のSGC活動で木に架けます。



- 以前の除伐で伐った木の枝や幹が、燃やし頃になっています。
- 9日も、除伐しますから、次回以降、ドラム缶などで、少しずつ燃やさないと、増える一方になりそうです。